

学校だより

令和7年7月1日(火) 第4号

心の豊かな生徒・自ら学ぶ生徒・強くたくましい生徒

さいたま市立西原中学校

住所 さいたま市岩槻区大字岩槻3750番地

電話 048-756-1117

学校 Web ページ <https://nishihara-j.saitama-city.ed.jp/>

地域と学校の架け橋

校長 細井 博幸

本年度も早いもので7月を迎え、あと13日登校すると夏休みに入ります。6月20日(土)に実施された体育祭では、梅雨入り後ということもあり、天気が心配されましたが、1週間雨に降られることもなく、準備に本番にと予定どおり実施することができました。体育祭などの学校行事はPTAの協力なくしては実施できませんが、PTA活動の大幅なスリム化元年の今年は、保護者の皆様からボランティアを募り、御協力いただくこととなりました。前日準備、体育祭当日と、20名以上の保護者の皆様がボランティアとして御協力いただきました。本当にありがとうございました。今後の学校行事も同様の対応になるかと思います。強制や義務ではなく自発的に助け合えるPTA活動への御理解、御協力をお願いいたします。

さて、6月10日(火)には、第1回学校運営協議会が開かれました。私も西原中学校に着任して3年が経ち回を重ねるごとに学校運営協議会における熟議(学校、保護者、地域住民が、学校運営や子どもたちの教育について、共に考え、議論し、協力していくためのプロセス)の深まりを感じています。今回、話題となったのが、「ボランティア活動の充実」と「西原☆フェスティバル」についてです。



ボランティア活動の充実につきましては、コロナ禍を経て、様々な地域行事が再開し、生徒によるボランティア活動の場も増えてきております。ボランティア活動を通して生徒たちが地域と関われることは、地域の助けとなるだけでなく、地域の方々との触れ合いを通して、活動への感謝、賞賛の声等を直接生徒たちにいただけることで、自己肯定感の向上等、大きな成長の場となることでしょう。現在、「ボランティアバンク登録制度」を新たに設け、地域と生徒たちのボランティア活動を通じた関わりの充実を図ろうとしております。これは、ボランティア活動を希望する生徒がボランティアバンクに登録し、地域等からボランティアの依頼に応じて紹介を行う、地域と学校の架け橋となる制度です。準備が整いましたら御連絡いたしますので、ボランティア活動を希望する生徒からの多くの登録を楽しみにしています。また、地域の皆様におかれましては、地域行事に関わらず生徒の活躍の場がございましたら、お声がけいただきますようよろしくお願い申し上げます。

西原☆フェスティバルにつきましては、昨年の11月の学校だよりでも取り上げましたが、実施方法等について議論が進められています。この西原☆フェスティバルは、コロナ禍で休止となりましたが、令和5年度から中学校単独開催で再開しました。これもPTA本部役員の皆様を中心に多くの保護者の皆様が、子どもたちの願いに応えるために御協力いただいたおかげです。本当にありがとうございました。一方で、PTA主催で行われているイベントということもあり、現在PTA活動のスリム化を図っている中、実施を継続できるのかという課題もあります。そうした中、学校運営協議会の委員の皆様が、この西原☆フェスティバルを、学校行事ではなく、地域の各種団体の御協力を得た地域行事として実施できないかとの検討が進んでいます。例えば、西原小・中学校が同日開催となれば、これまでの小学生が中学校で部活動体験等を行うことに加え、中学生がボランティアや吹奏楽部の演奏などを小学校で実施することも可能となります。また、地域の行事として実施されることで、PTAもボランティアとして関わりやすくなるとともに、より一層地域の皆様に参加いただけるイベントになると考えています。令和8年度の開催に向け、学校運営協議会委員の皆様の御協力をいただきながら議論を深め、西原☆フェスティバルを地域と学校の懸け橋となる地域行事にしていきたいと願っています。

引き続き本校の教育活動への御理解、御協力をよろしくお願い申し上げます。